

議案審議状況

本会議・委員会から

第2回定例会 本会議

◆平成23年度狛江市一般会計補正予算(第1号)

【提案理由】
一般会計予算を補正する必要が生じたため。

【主な質疑】

・市長初め職員は義援金を出したのか出さなかったのか。出した場合は幾らだったのか。
・今1500万の繰越金を計上し、予備費になぜ652万7

000円を計上したのか。
・市民ホール費の高置ポンプ修理だが、167万円は何基分の修理費か。またなぜ一編に修理する必要があるのか。
・小口事業資金融資あっせん等関係費の東日本大震災特別支援資金融資だが、震災の影響か事業の悪化の見きわめはどうか。

・予備費の使い道に関してだが、放射能の測定器を買うというようなことを想定しているのか。
・東日本大震災支援関係費だが、

災害支援用消耗品60万、災害支援用燃料40万の中身は。また、職員出張旅費の150万円は、何名を想定しているのか。
・今回の震災に対する市の基本的な取り組み姿勢は。

【結果】賛成全員の可決

◆平成23年度狛江市一般会計補正予算(第2号)

【提案理由】

一般会計予算を補正する必要が生じたため。

【主な質疑】

・放射能測定器を買うということだったが、都の空間線量測定に依拠することになったが、市民要望が強ければ対応するのか。
・緊急雇用創出事業だが、創出される雇用人員は延べで何人か。また、この雇用は原則6カ月以内が原則か。
・社会参加が必要な若者の雇用を市は企業に働きかけているか。

・緊急雇用創出事業費はデータ整理が主だが、これらを選んだ根拠は何か。
・道路の点検調査と水路の台帳整備について。
・緊急雇用創出事業補助金の約6割強がデータ整理で、これらシステム化により人件費が削減されると考えるか。
・学齢簿等システム構築事業費1420万7000円の根拠

は。
・教育指導費の都の委託を受けて行う4つの事業の指定を受ける期間は。
【結果】賛成全員の可決

◆狛江市監査委員の選任につき(栗山 輝夫氏)

【提案理由】
地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求め。

【結果】賛成多数の同意

◆狛江市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(加川 道英氏)

【提案理由】
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求める。

【結果】賛成多数の同意

◆狛江市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(中村 裕二氏)

【提案理由】
地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求める。

【主な質疑】
・政治的に中立が求められる委員だが、直近中立・公正が担保できない事例があるが、承知で提案したのか。
・今後周知徹底してほしいが、中立の担保は確認しないのか。

【結果】賛成多数の同意

◆狛江市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【提案理由】
2割軽減対象者の所得判定について、本来軽減対象世帯が軽減対象外となる不利益を是正し、所得判定の計算方式を改めるため。

【結果】賛成多数の可決

総務文教常任委員会



◆財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例

【提案理由】
普通財産の譲与又は減額譲渡の規定に例外規定を加え、無体財産権等を無償又は時価よりも低額で貸し付ける規定を加える

【結果】賛成全員の可決

◆狛江市税条例の一部を改正する条例

【提案理由】
東日本大震災の被災者等に係る国税関係法律の臨時特例に関する法律及び地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、各種特例を追加するため。

【結果】賛成全員の可決

可決された意見書

第2回定例会では、議員から4件の意見書が提出され、3件が可決されました。可決された意見書の主なものを紹介します。

駅ホームの安全対策強化を求める意見書

平成13年(2001年)1月に、JR新大久保駅でホームから転落した男性を救助しようとした韓国人留学生ら3人が死亡した事故から丸10年がたつが、その後もホームからの転落事故が後を絶たない。本年4月にはJR埼京線北与野駅で、さいたま市内の女子中学生が通過する

とともに公有財産の利用方法を拡大する規定を加えるため。

【主な質疑】

・著作権のあり方について、他市の例を見てもここまで厳格に扱う必要はなく、この件は社会通念上なじまない中、あえて行うことに疑問を感じる。

【結果】賛成全員の可決

社会常任委員会



通勤快速列車と接触し、頭などを打って翌日死亡するという痛ましい事故が発生している。さらに本年1月にも、JR山手線目白駅でも視覚障害がある男性の転落死亡事故も発生していることから、JR・私鉄を問わず鉄道駅のプラットフォームの安全対策強化を求める国民・利用者の声が高まっている。

現在、都内では東京地下鉄が既に69駅でホームドアを設置し、今後全駅整備を目指しているが、JRや他の私鉄では駅構造や経費の問題などが山積し、整備のおくれが目立っている。また、ホーム上に設置されている「点字ブロック」も経年劣化が目立つところもあり、総合的な駅ホームの安全対策が強く求められている状況にある。こうした

状況を踏まえ国土交通省も検討委員会を設置しているところである。

よって狛江市議会は政府等に対し、ホームドアやホームさく、点字ブロック、駅係員呼び出しインターホン、ホーム整理員の配置など、駅ホームの安全対策施設整備の推進を強く求めると同時に、政府には鉄道事業者に対する技術支援等を強く求めるものである。

電力需給対策に関する意見書

子ども「年20ミリシーベルト」基準の撤回を求める意見書

(本文は、市議会ホームページにあるいは市議会事務局で閲覧できます。)

子ども「年20ミリシーベルト」基準の撤回を求める意見書

平成23年度

狛江市一般会計補正予算(第1・2号)の主な内容(歳出)

(単位:千円)

総務費	総務管理費	文書管理関係費	9,572
民生費	社会福祉費	災害時要援護者避難支援事業	11,867
	児童福祉費	子ども手当	△ 114,548
		児童相談管理システム構築事業	29,831
土木費	道路橋りょう費	水路台帳整備	39,165
		公共基準点測量	17,602
消防費	消防費	家具転倒防止器具助成	15,819
教育費	教育総務費	市政情報整備	15,268
		学齢簿等システム構築事業	14,207
	社会教育費	埋蔵文化財整理事業	13,782